

授業計画

学年	区分	教科名	科目名	授業時間	対象
中学3年	必修	芸術	音楽	週1時間	中3全生徒
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本初女声2部合唱の作られた時代とその音楽、作曲者について学ぶ ・2重唱の響きを合わせる楽しみを知る ・後期ロマン派(国民楽派)について知る ・ハレルヤ・コーラスの全曲暗譜を通して自己表現に自信をもたせる ・音楽史を体系的に学び義務教育最後の音楽教育の完成を目指す 				
学習教材	教科書 『中学生の音楽 2・3年上・下』(教育芸術社) 副教材 『ハレルヤ・コーラス(女声3部)』(シンキョウ社)				
クラス編成	クラス単位				
成績評価方法	前期、後期共に 実技1回、筆記テスト(年数回)、各単元ルーブリックの合計点での評価				

年間スケジュール

学期	学習内容	備考(指導方法など)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・2重唱「花」に取り組み譜面に忠実に演奏することを通して作品がもっている魅力を表現できることを目指す ・2重唱を通して2つの旋律が響きあう美しさを体得する ・「花」の作曲者について学び、日本の音楽教育の歴史についても触れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・2人1組でパートを決定し2重唱に取り組む。聞きあうことを大切にする前にお互いの自己表現力を高める事でハーモニーが安定することを体得させる。 ・単に明治の唱歌として歌うのではなく、当時の人の音楽に対するあこがれなどその思いを知って味わい深い音楽の完成を目指す。
	前期中間試験(実技テストと授業内筆記テストで評価)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国民楽派を代表する作曲家スメタナの代表作「ブルタバ」の鑑賞 ・ハレルヤコーラス全曲暗譜練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハレルヤコーラスの暗譜は単に間違いなく歌うと言うことに終始しない、自己表現に自信をもてるよう細かい表現も指導する。
前期期末試験(同上)		

学期	学習内容	備考(指導方法など)
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス学年賛美練習 ・ハレルヤコーラス暗譜テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年賛美では中学最高学年としての成果を発揮し、達成感を味わえるよう指導する。
	後期中間試験(実施せず)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス学年賛美練習 ・音楽史の中世から近現代までを学ぶ ・歌舞伎音楽長唄「勸進帳」の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽史上の作曲家及び作品について時代毎の特徴などグループワークを通して理解し、発表形式で互いに学び合う。 ・音楽としての歌舞伎と舞台としての歌舞伎の両方の観点で視聴覚教材を取り入れ学ぶ。歌舞伎の面白さ、迫力、また長唄に登場する楽器の特徴などを知る。
後期期末試験(実技テストと授業内筆記テストで評価)		